

■難波大助 テロリスト。摂政(昭和天皇)暗殺未遂<虎ノ門事件>を起こして広範な影響を及ぼし、死刑となった。

なんばだいすけ

Bushidou・・1899＝ 山口県熊毛郡周防村立野(光市)で、名望家の四男に生まれる。

日露戦争終・1905＝ 6歳：

アヲキヲ創刊・ 1908＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝13歳： _長兄は東京帝国大学、三兄・弟は京都帝国大学出身という家庭環境の中、父への反抗心強く、

徳山中学に進んだが退学、

ロシア革命・1917＝18歳： 私立鴻城中学に移り、

高等学校(旧制)受験に失敗、

大暴落・・・1920＝21歳： 普通選挙期成大演説会に加わる。この年、_県議だった父作之進が代議士当選。

原敬首相暗殺1921＝22歳： _{改造}掲載の論文を読んで、社会主義に傾倒、大逆事件の経緯を知って、テロリストになろうと決意。

水平社結成・1922＝23歳： ようやく第一早稻田高等学院文科に入学すると、サンジカリズムの影響も受け、

関東大震災・1923＝24歳： 退学し、深川の労働者街に身を投じる。*河上肇「断片」を読んでロシアのテロリストに共感、反天皇の思想を抱き、関東大震災直後の帰省の途次、<甘粕事件><亀戸事件>などを聞いて一層その意思を堅める。摂政(昭和天皇)暗殺を意図し、父のステッキ銃(韓国帰りの林文太郎が父作之進に譲ったものだが、伊藤博文が部下の林に与えたものという説がある)をもって離郷。京都の友人宅に滞留ののち、上京し、帝国議会開院式に向かう摂政を虎ノ門で狙撃したが失敗した。この事件で第二次山本権兵衛内閣は総辞職、湯浅倉平警視總監・正力松太郎警務部長らは懲戒免職、山口県知事は休職、父は衆議院議員を辞任して閉門蟄居、謹慎した。事件当日より予審訊問が行われ、

護憲三派圧勝1924＝25歳： *本裁判に付され、死刑の判決が下った。裁判所の改俊懲悪政策は、判決直後の'日本無産労働者・日本共産党万歳'の絶叫で挫折、2日後に処刑された。